

市内循環バス「川越シャトル」OD調査 (乗降客数調査) の概要について

令和3年11月8日(月)

都市計画部交通政策課

1 OD調査（乗降客数調査）の概要について（報告書P1～4）

（目的）

- 市内循環バス「川越シャトル」については、新河岸駅の東西駅前広場整備に合わせて路線の見直しを行い、平成30年4月から新路線で運行しているところである。
- 今後、川越シャトルの改善を進めていくことから、川越シャトルの利用状況等を調査し、利用実態を把握することを目的とする。

（調査対象）

- 川越シャトルの全13系統、全便（平日144便・土日116便）

（調査期間）

- 6月24日（木）～30日（水）の7日間（平日5日、土日2日の計7日間）

調査日	24日(木)	25日(金)	26日(土)	27日(日)	28日(月)	29日(火)	30日(水)
AM	晴れのち曇り	曇り	晴れのち曇り	曇り	晴れ	雨	曇り
PM	曇り一時雨	曇りのち雨	曇り	曇り時々晴れ	晴れ	曇り	曇り

（調査内容）

- 川越シャトル利用者の乗車バス停、降車バス停を属性別に把握する。
- 属性は、料金（無料、現金・ICカード、1日券など）、券種（特別乗車証の種別など）など。

（調査方法）

- 全て川越市職員により調査を行った。
- 川越シャトル1台につき、調査員が1名又は2名乗車し、バス利用者の乗車時に「OD調査票」を配布し、降車時に回収した。

2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P5、10、11）

(1) 総乗車人員など

（総乗車人員）

- ・ 総乗車人員については6,633人であり、前回調査(平成27年度)より1,262人(約16%)減少した。
- ・ 曜日別では、平日の利用が多く、大きな差はないが水曜日が最も多かった。一方、土日の利用は平日より少なく、1日あたり乗車人員は平日の約63%である。

● 曜日別乗車人員(人)

調査年度	月	火	水	木	金	土	日	合計	平日平均	土日平均
R3	1,065	1,107	1,118	1,008	1,100	733	502	6,633	1,080	618
H27	1,166	1,225	1,165	1,256	1,480	875	728	7,895	1,258	802

（券種別乗車人員）

- ・ 70歳以上の高齢者や障害者など特別乗車証を利用した人は、総乗車人員の約53%だった。
- ・ 13系統中、8系統(10・11・20・23・30・31・32・41系統)において、乗車人員の半数以上が特別乗車証を利用していた。

● 券種別乗車人員(人)

90歳以上	70～89歳	障害者	障害者の 介護者	一般	障害者 (手帳提示)	子ども (小学生)
131	2,101	1,190	74	3,021	80	36
2.0%	31.7%	17.9%	1.1%	45.5%	1.2%	0.5%

2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P6、7）

(2) 利用状況

（系統別乗車人員）

- 21系統(1,435人)の利用が一番多く、次いで30系統(1,157人)、10系統(724人)の利用が多く、総乗車人員(6,633人)の半数を占めている。
- ほとんどの系統において、1日あたりの乗車人員は平日より土日が少なかった。

● 系統別乗車人員(人)

系統		乗車人員	割合
10	霞ヶ関駅北口発	359	5.4%
10	鶴ヶ島駅西口発	365	5.5%
11	霞ヶ関駅北口発	307	4.6%
11	西後楽会館発	290	4.4%
20	川越駅西口発	190	2.9%
20	霞ヶ関駅北口発	236	3.6%
21	川越駅西口発	682	10.3%
21	南大塚駅北口発	753	11.4%
22	川越駅西口発	198	3.0%
22	南大塚駅北口発	206	3.1%
23	南大塚駅北口発（右回り）	86	1.3%
23	南大塚駅北口発（左回り）	96	1.4%
30	総合福祉センター発	492	7.4%
30	南文化会館発	665	10.0%

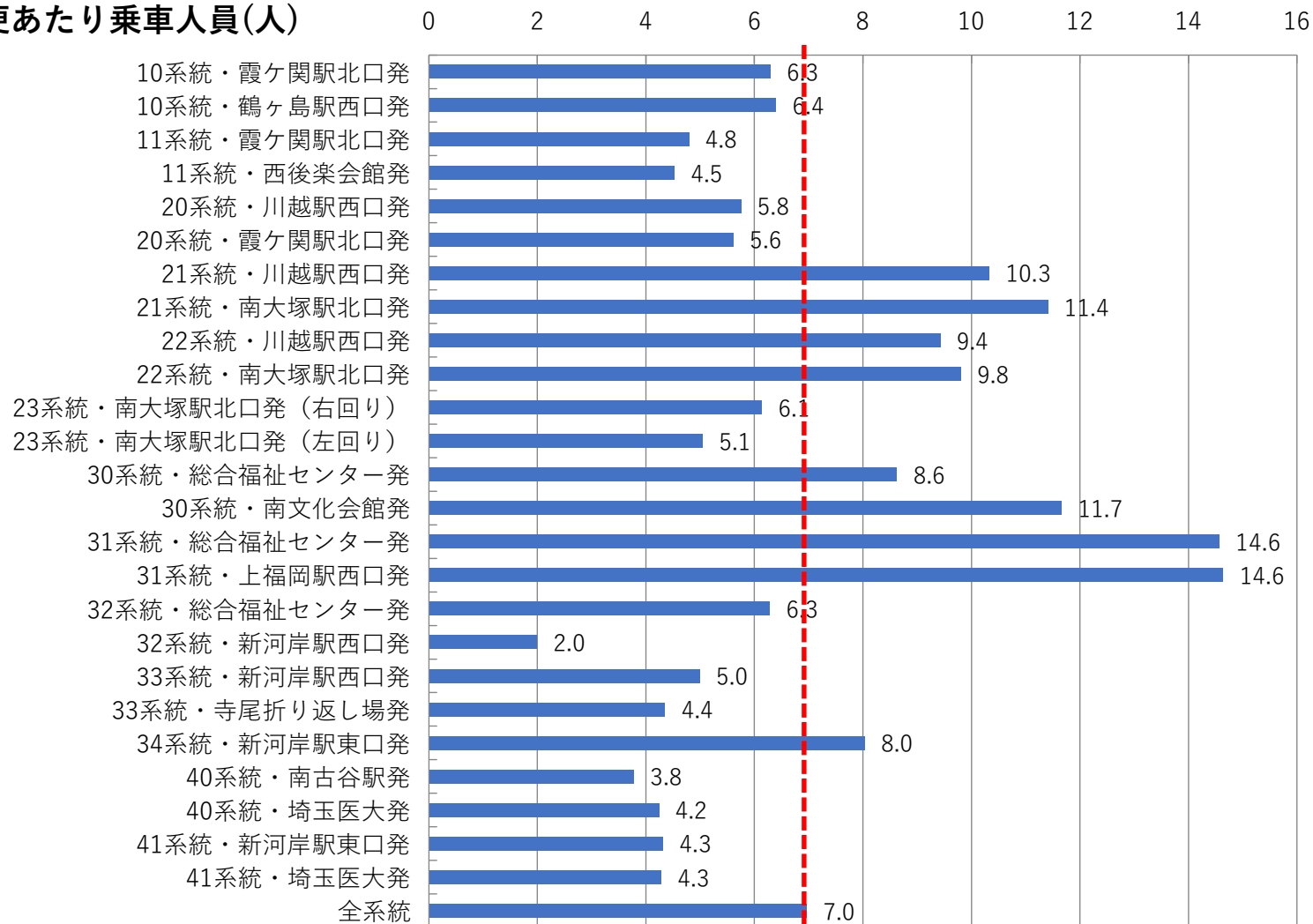
系統		乗車人員	割合
31	総合福祉センター発	204	3.1%
31	上福岡駅西口発	205	3.1%
32	総合福祉センター発	88	1.3%
32	新河岸駅西口発	28	0.4%
33	新河岸駅西口発	70	1.1%
33	寺尾折り返し場発	61	0.9%
34	新河岸駅東口発	225	3.4%
40	南古谷駅発	276	4.2%
40	埼玉医大発	310	4.7%
41	新河岸駅東口発	121	1.8%
41	埼玉医大発	120	1.8%
全系統		6,633	

2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P8、9）

（1便あたり乗車人員）

- 1便あたり平均乗車人員は7.0人であり、前回調査の8.6人を下回った。
- 全系統の平均乗車人員を上回った系統は、21・22・30・31・34系統の5系統だった。

● 1便あたり乗車人員(人)



2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P12～17）

(3) バス停利用状況

- 乗降者数が多いバス停は、川越駅西口で1,559人（1便あたり6.3人）、次いで川越駅東口で1,113人（1便あたり6.4人）、次いで霞ヶ関駅北口で813人（1便あたり2.9人）であった。
- 乗降客数が多いバス停の上位5か所は駅であり、駅のバス停全てを合わせると5,687人の乗降客数となっており、全体の約43%を占めている。
- 乗降者数が1日あたり10人以上のバス停は44か所ある一方、1日あたり1人未満のバス停は38か所あった。また、調査期間において、1回も乗降のないバス停は10か所あった。

●バス停別乗降者数(上位10バス停)(人、便数は便)

順位	バス停	運行便数	乗車	降車	合計	1日平均	1便平均
1	川越駅西口	249	764	795	1,559	222.7	6.3
2	川越駅東口	174	484	629	1,113	159.0	6.4
3	霞ヶ関駅北口	281	429	384	813	116.1	2.9
4	南大塚駅北口	207	325	292	617	88.1	3.0
5	新河岸駅西口	193	206	212	418	59.7	2.2
6	埼玉医大	202	187	181	368	52.6	1.8
7	広栄町	174	182	165	347	49.6	2.0
8	南古谷駅	174	149	195	344	49.1	2.0
9	武蔵野総合病院	207	182	161	343	49.0	1.7
10	鶴ヶ島駅西口	114	154	127	281	40.1	2.5

2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P17～30）

(4) バス停間（区間）利用状況

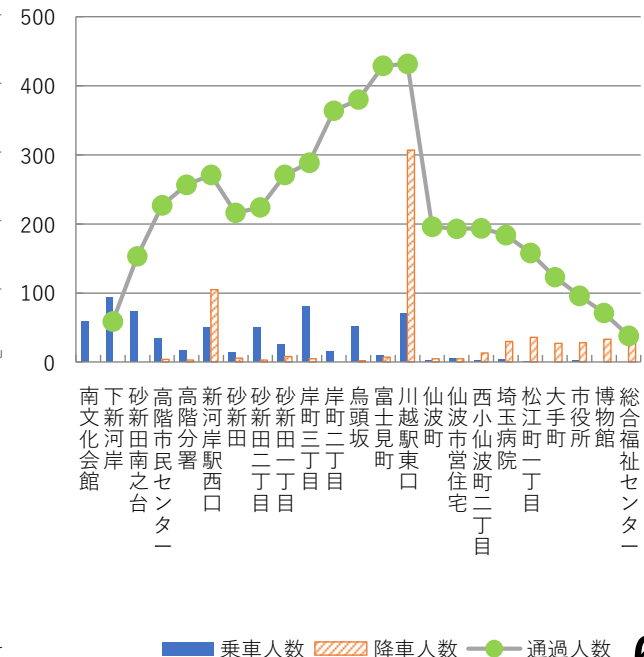
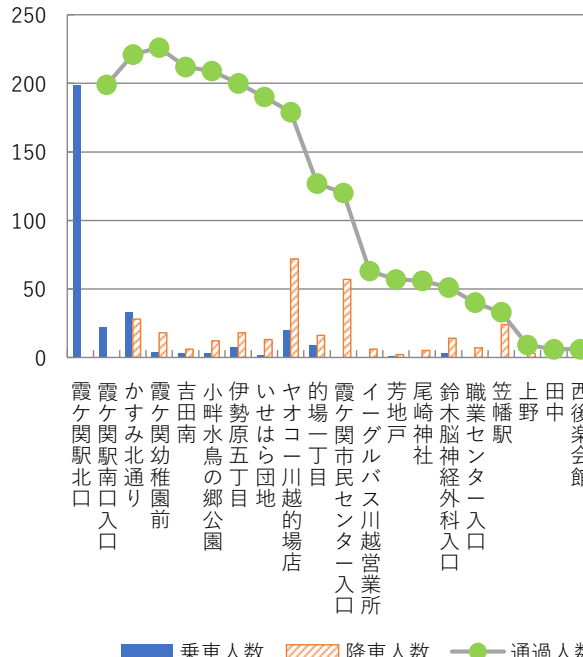
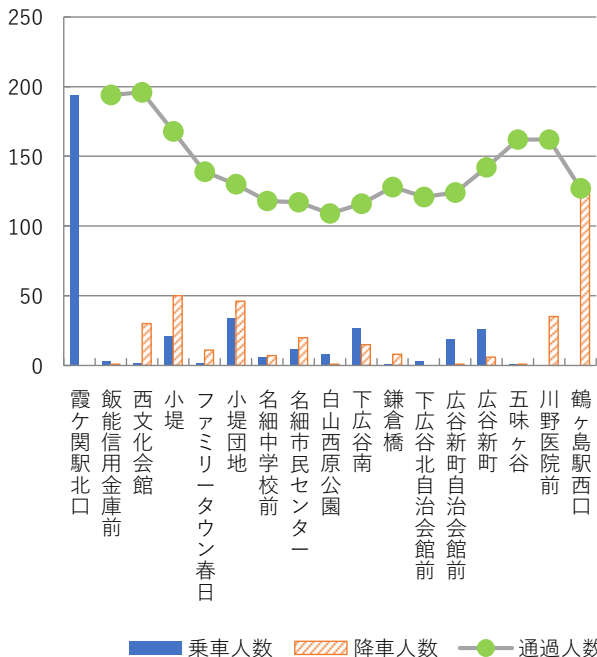
- ほとんどの系統において、駅が目的地や出発地になっていた。
- 大きく分けると、①始発から終点まで平均的に車内の人数がいるパターン、②始発から終点に向かって車内の人数が増減するパターン、③路線の途中の駅等で車内の人数が増減するパターンに分かれた。

●バス停間利用状況（全日）（人）の例

- ① 始発から終点まで平均的に車内の人数がいるパターン
（例：10系統 霞ヶ関駅北口発）

- ② 始発から終点に向かって車内の人数が増減するパターン
（例：11系統 霞ヶ関駅北口発）

- ③ 路線の途中の駅等で車内の人数が増減するパターン
（例：30系統 南文化会館発）



2 OD調査（乗降客数調査）結果について（報告書P31～34）

(5) OD状況

- 調査期間における利用区間は637区間であり、最も多い利用区間は「川越駅西口～広栄町」、次いで「川越駅西口～ひまわり南幼稚園」、次いで「川越駅西口～武蔵野総合病院」であり、いずれも21系統及び22系統の区間であった。
- 1日あたり10人以上の利用区間は17区間あり全体の約3%、1人未満の利用区間は439区間あり約69%であった。

● OD別乗車人員（上位20区間）（人）

順位	利用区間	乗車人員	1日平均乗車人員	順位	利用区間	乗車人員	1日平均乗車人員
1	川越駅西口～広栄町	269	38.4	11	グリーンパーク～埼玉医大	94	13.4
2	川越駅西口～ひまわり南幼稚園	193	27.6	12	ユナイテッドシネマ南古谷～グリーンパーク	89	12.7
3	川越駅西口～武蔵野総合病院	188	26.9	13	新河岸駅西口～下新河岸	84	12.0
4	南古谷駅～埼玉医大	142	20.3	13	霞ヶ関駅北口～小堤	84	12.0
5	川越駅西口～南大塚駅北口	140	20.0	15	川越駅西口～豊田町二丁目	77	11.0
6	川越駅東口～烏頭坂	125	17.9	16	川越駅西口～豊田町三丁目	76	10.9
7	川越駅東口～岸町三丁目	110	15.7	17	霞ヶ関駅北口～霞ヶ関市民センター入口	70	10.0
8	川越駅西口～大塚新田	107	15.3	18	武蔵野総合病院～南大塚駅北口	67	9.6
9	川越駅西口～南大塚一丁目	98	14.0	19	川越駅東口～砂新田南之台	59	8.4
10	霞ヶ関駅北口～小堤団地	95	13.6	20	霞ヶ関駅北口～ヤオコー川越の場店	56	8.0

3 川越シャトル利用者アンケート調査結果について

(1) アンケート概要

(実施期間)

- 6月24日（木）～30日（水）の7日間（OD調査と並行して実施）

(実施方法・内容)

- 川越シャトル利用者に対し、バス車内等においてヒアリング調査をした。
- アンケート項目は以下のとおり。

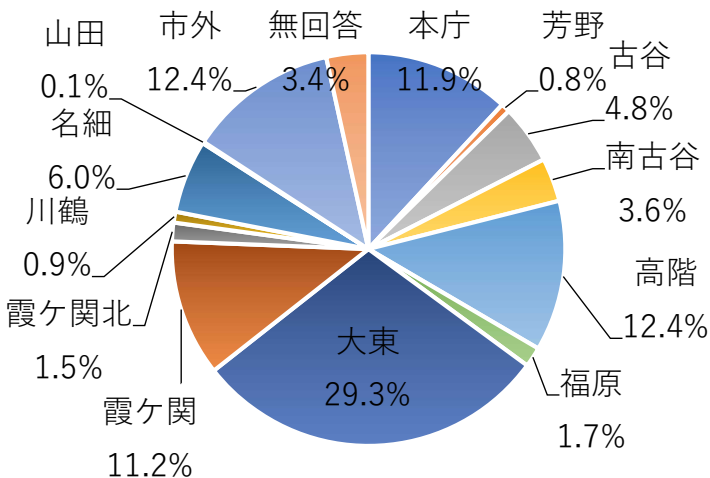
- | | | |
|-------|------------|----------------|
| □ 居住地 | □ 利用目的 | □ 公共交通機関との乗り継ぎ |
| □ 性別 | □ 利用頻度 | □ 改善してほしいこと |
| □ 年代 | □ バス停までの時間 | □ その他意見（自由記載） |

(2) 調査結果

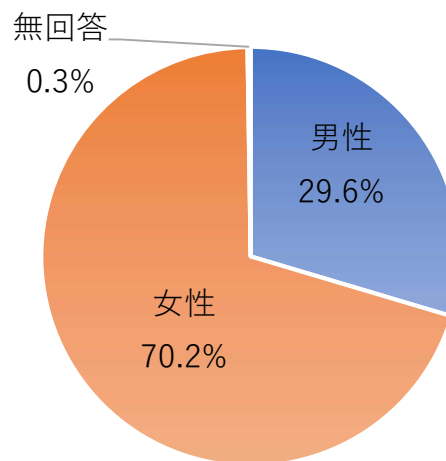
- 川越シャトル利用者**784名**から回答を得た。

【1 属性について】

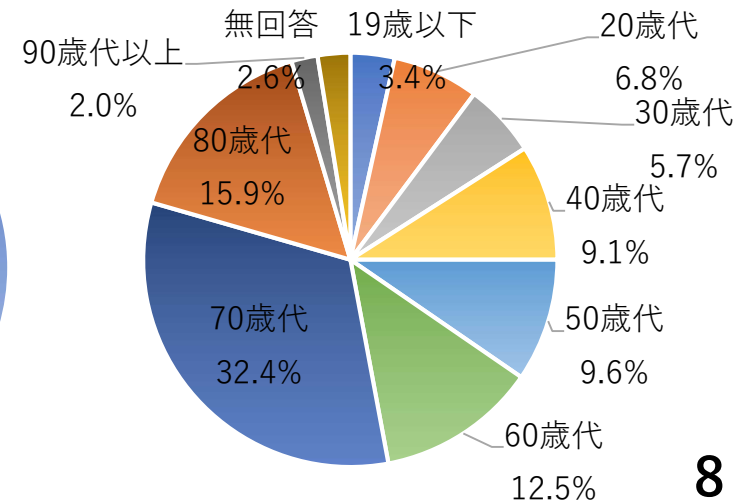
● 1-1 居住地



● 1-2 性別



● 1-3 年代

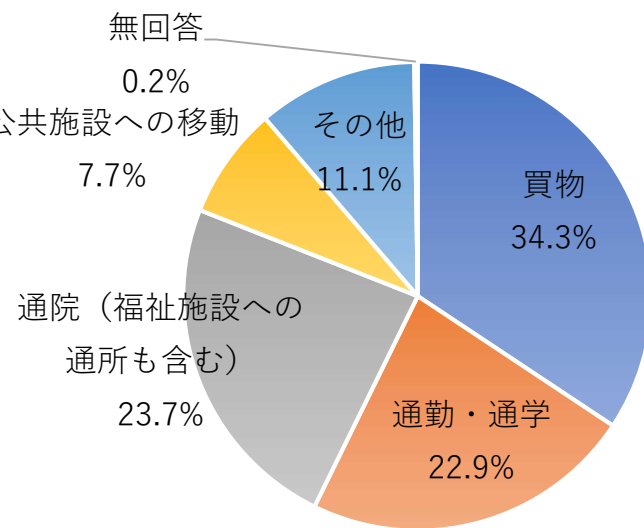


3 川越シャトル利用者アンケート調査結果について

【2 利用状況について】

- どのような目的でよく利用しているか。(複数回答可)公共施設への移動

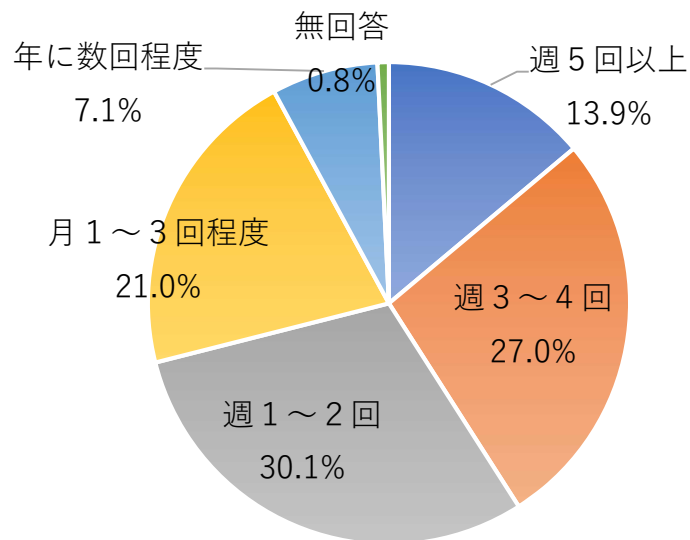
項目	人数(人)
買物	298
通勤・通学	199
通院（福祉施設への通所も含む）	206
公共施設への移動	67
その他	96
無回答	2
合計	868



※その他の回答としては、「雨の日に利用」、「習い事」や「スポーツジム」に行く時に利用など。

- どの程度利用しているか。

頻度	人数(人)
週5回以上	109
週3～4回	212
週1～2回	236
月1～3回程度	165
年に数回程度	56
無回答	6
合計	784

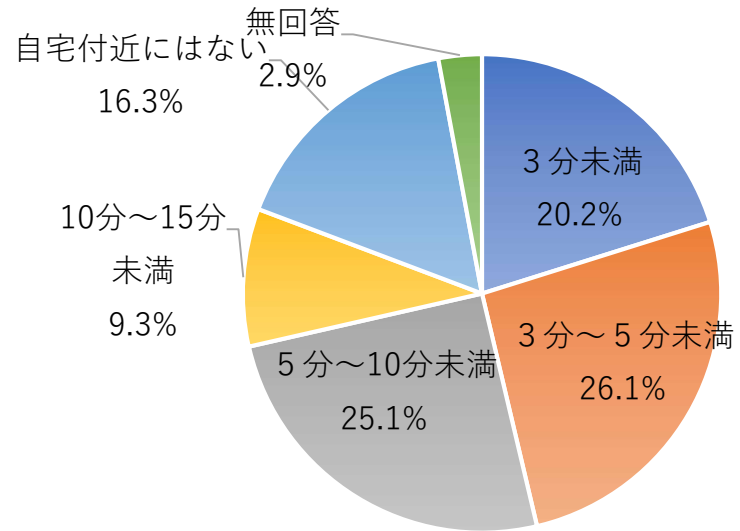


3 川越シャトル利用者アンケート調査結果について

【2 利用状況について】

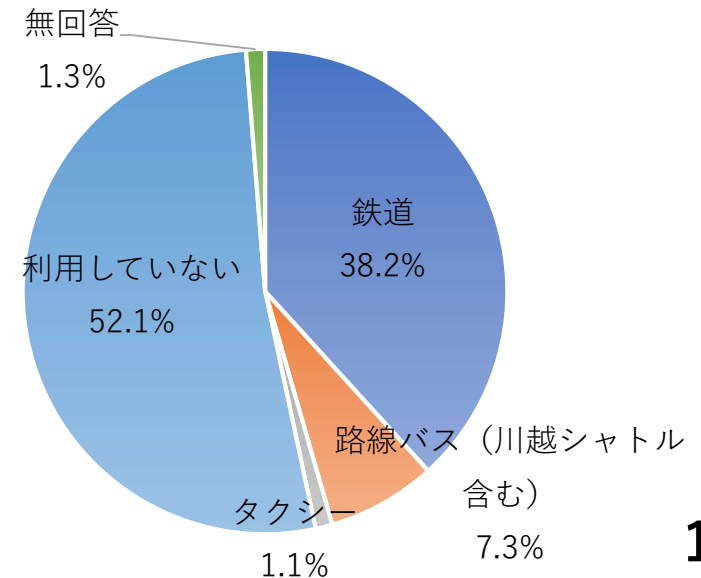
- 自宅から最寄りのバス停まで徒歩何分かかるか。

時間	人数(人)
3分未満	158
3分～5分未満	205
5分～10分未満	197
0分～15分未満	73
自宅付近にはない	128
無回答	23
合計	784



- 川越シャトル乗車前(乗車後)に公共交通機関を利用し、乗り継いだか(乗り継ぐか)。(複数回答可)

公共交通機関	人数(人)
鉄道	304
路線バス (川越シャトル含む)	58
タクシー	9
デマンド型交通かわまる	0
利用していない	414
無回答	10
合計	795



3 川越シャトル利用者アンケート調査結果について

【3 改善してほしいことについて】

- 利用するにあたり改善してほしいことは。（複数回答可）

改善項目	人数(人)
運行便数	502
利用料金	14
定時性の確保	21
自宅の近くや目的地にバス停がない	26
運転手の対応	12
その他	49
特になし	169
無回答	33
合計	826

